

静岡市国際交流協会経営計画について

静岡市国際交流協会（SAME）は、2018年度から2022年度までの5年間の事業方針を示した経営計画を策定いたしました。従来の国際交流事業や多文化共生事業に加え、訪日旅行者の受け入れやMICE（※）の誘致など経済活動を支える事業を含めた多様な事業を展開し、「世界に輝く静岡」の実現に向けた市の国際化に寄与するとともに、経営の健全化を図ってまいります。

▶静岡市国際交流協会が担うべき役割

これまでの実績から蓄積された当協会の強みである「**つくる力**（ネットワークづくり、仕組みづくり、きっかけづくり）」「**伝える力**（普及啓発、情報提供、魅力発信）」「**育む力**（人材の発掘・育成・組織化、団体の活動支援、職員のスキル向上）」を活かすとともに、静岡市地域外交方針や静岡市多文化共生推進計画にもとづいて、地域経済の活性化を支える取組みや地域外交を支える取組み、多文化共生ネットワークづくりを取り組むべき事業として推進します。また、これら3つの力を活かし、行政と民間をつなぐ『コーディネート役』として国際化に伴う地域課題の解決を目指します。

▶基本方針

（1）地域経済の活性化を支える取組みの推進

市が誘致した外国人観光客やMICE等の受け入れ体制を整えることで、本市を訪れる人の満足度を高め、地域経済の活性化を支える取組みを推進する。

主な取組み：ホームステイコーディネート事業
在外日本語学習者の支援事業
企業支援事業など



（2）地域外交を支える取組みの推進

姉妹都市を中心とした諸外国との交流を通じて、市の魅力を海外へ発信するとともに、国際感覚に優れた人材や市民団体を育て、地域外交を支える取組みを推進する。

主な取組み：姉妹都市交流事業
対日理解促進交流プログラム
外国人人材紹介事業など



（3）多文化共生社会の構築

外国人が行政や地域活動に参画できる機会を創ることなどを通じて、国際化に伴う地域の課題を解決し、本市に暮らす人が安心感をもてる多文化共生社会の実現を推進する。

主な取組み：相談事業（相談会、窓口）
生活者としての外国人のための日本語講座
外国人住民のための生活相談会など



▶経営戦略

今後、多様な事業展開を実現するため、収支計画や人員計画、組織計画、成果指標、推進体制、進行管理（PDCAサイクル）など経営改善に向けた取組みを行い、経営の安定化を図ります。

※MICEとは、企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行）（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。（観光庁ウェブサイトより）